

大分大学工学部履修規程

平成16年4月1日制定

平成16年工学部規程17号

(趣旨)

第1条 この規程は、大分大学学則（以下「学則」という。）第19条第4項の規定により、大分大学工学部（以下「本学部」という。）の教育課程の編成、履修方法及びその他必要な事項を定める。

(学科・コース)

第2条 本学部の学科・コースは次のとおりとする。

学 科	コ ー ス
機械・エネルギーシステム工学科	機械コース，エネルギーコース
電気電子工学科	電気コース，電子コース
知能情報システム工学科	
応用化学科	
福祉環境工学科	建築コース，メカトロニクスコース

(教育課程)

第3条 本学部の教育課程における授業科目区分は、教養教育科目、専門基礎科目及び専門教育科目とする。

- 2 教養教育科目は、全学共通科目、外国語科目及び身体・スポーツ科学科目から構成する。
- 3 専門基礎科目及び専門教育科目は、必修科目と選択科目に分ける。

(卒業要件)

第4条 本学部所定の教育課程を修了するためには、教養教育科目、専門基礎科目及び専門教育科目に区分された授業科目の単位を別表1のとおり修得し、かつ、全学期を通した1単位当たりの成績の平均値（以下「累積成績指標」という。）が「2.0」以上でなければならない。

- 2 本学部に3年以上在学した者が前項の単位を優秀な成績で修得したと認める場合には、本学部所定の教育課程を修了したものとすることができる。

(技術者教育プログラム等)

第5条 本学部に工学教育プログラム及び技術者教育プログラムを置く。

- 2 工学教育プログラムを置く学科及びその名称は、次のとおりとする。

学 科	工学教育プログラム名
機械・エネルギーシステム工学科	機械システム総合コース エネルギーシステム総合コース
知能情報システム工学科	知能情報システムコース
福祉環境工学科	建築システムプログラム 福祉メカトロニクスプログラム

- 3 技術者教育プログラムを置く学科及びその名称は、次のとおりとする。

学 科	技術者教育プログラム名
機械・エネルギーシステム工学科	機械システム基礎コース エネルギーシステム基礎コース
電気電子工学科	電気コース 電子コース
知能情報システム工学科	知能情報コース
応用化学科	応用化学コース

福祉環境工学科	建築プログラム メカトロニクスプログラム
---------	-------------------------

4 工学教育プログラム及び技術者教育プログラムの履修に関し必要な事項は、別に定める。

(授業科目及び履修方法)

第6条 教養教育科目の授業科目及び履修方法は別表2のとおりとする。

2 専門基礎科目の学科別授業科目及び履修方法は別表3のとおりとする。

3 専門教育科目の学科別授業科目及び履修方法は別表4のとおりとする。

4 その他履修方法に関する細目については、別に定める。

(履修手続)

第7条 学生は、毎学期始め所定の期日までに、その学期において履修しようとする授業科目を別に定める様式により学務係に届け出なければならない。

2 学生が各学期に履修登録することができる単位数の上限は、別に定める。

(単位の基準)

第8条 各授業科目の単位は、学則第22条に定めるほか次の基準によって計算する。

1 外国語科目、実験、実習及び製図は、30時間の授業をもって1単位とする。

2 卒業研究については別に定める。

(成績評価及び単位の認定)

第9条 履修した科目の成績の評価は原則として期末試験及び中間試験、平素の出席状況、学習状況、学習報告等を総合して行うものとする。

2 成績の査定はS(100点満点で90点以上)、A(100点満点で80点以上90点未満)、B(100点満点で70点以上80点未満)、C(100点満点で60点以上70点未満)、F+(100点満点で50点以上60点未満)、F(100点満点で50点未満)とし、F+及びFについては不合格とする。

3 合格した者には所定の単位を認定する。

4 成績指標算定の際の評価点は、S=5点、A=4点、B=3点、C=2点、F+=1点、F=0点とする。

5 成績評価、単位認定及び試験に関する細目については、別に定める。

(追試験)

第10条 病気、忌引、就職試験その他やむを得ない事情により受験できなかった者に対して、本人の願出により追試験を許可することがある。

2 追試験を希望する者は、所定の願書にその理由に応じて、医師の診断書、就職試験先の受験証明書その他これに代わる証明書を添え担当教員の認印を受けて、欠席した試験日から1週間以内に学部長(学務係)に願出しなければならない。

(再試験)

第11条 定期試験及び追試験において、再試験の評価を受けた科目について、再試験を受けることができる。

2 再試験については、次の学期末までに担当教員の指示により実施する。ただし、卒業予定者の再試験については、その学期の別に定める日までに行うものとする。

(学業不振に関わる厳重注意等)

第12条 当該学期における1単位当たりの成績の平均値(以下「学期成績指標」という。)又は修得単位数が別途定める数値を満たさない場合は、学生に対して学業不振に関わる注意あるいは学業不振に関わる厳重注意を行うものとする。

(学士入学、編入学、転入学及び再入学)

第13条 学士入学，編入学，転入学及び再入学については別に定める。

（転学部及び転学科）

第14条 転学部及び転学科等については別に定める。

附 則

- 1 この規程は，平成16年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行日の前日に法人化前の大分大学工学部に在学していた学生については，当該学生に適用されていた法人化前の大分大学工学部履修規程の規定の例による。

附 則（平成17年工学部規程第39号）

この規程は，平成17年4月28日から施行し，平成17年4月1日から適用する。

附 則（平成19年工学部規程第8号）

この規程は，平成19年11月7日から施行する。

附 則（平成20年工学部規程第1号）

この規程は，平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成27年工学部規程第2号）

この規程は，平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年工学部規程第1号）

- 1 この規程は，平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行の日の前日に工学部に在学している学生の成績評価及び単位の認定については，改正後の大分大学工学部履修規程の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則（平成31年工学部規程第1号）

この規程は，平成30年2月6日から施行する。

別表 1

卒業に必要な最低修得単位・累積成績指標

学 科 科 目			機械・エネルギー システム		電気電子		知能情報 システム	応 用 化 学	福祉環境	
			機 械	エネルギー	電 気	電 子			建 築	メカトロ ニクス
教 養 教 育 科 目	全 学 共 通 科 目	主題科目 Ⅰ～Ⅹ	20単位（人文分野4単位以上，社会分野4単位以上，「大分を創る科目」 2単位以上を含むこと） （ただし，知能情報システム工学科は，人文分野4単位以上，社会分野4 単位以上，「大分を創る科目」2単位以上，人文分野・社会分野・外国語 に関するゼミナール科目から合わせて10単位以上を含むこと。 建築コースは，人文分野6単位以上，社会分野4単位以上，自然分野6 単位以上，「大分を創る科目」2単位以上を含むこと）							
		ゼミナール 科目								
	身体・ス ポーツ科 学科目	スポーツ 文化科学								
	短期留学プログラム (IPOU科目)									
	外 国 語 科 目	英 語	6単位							
専門基礎 科目		必修	14	16	18	16	12	10	12	14
		選択	A選択 6	A選択 4	A選択 2	A選択 4	A選択 8	A選択 12	A選択 4	A選択 0
専 門 教 育 科 目	必修		67	45	61.5	60	70	52	71.5	53
	選 択		A選択 11	※33	A選択 16.5	A選択 18	A選択 8	※24	※10.5	※31
合 計			124	124	124	124	124	124	124	124
累積成績指標			2.0以上	2.0以上	2.0以上	2.0以上	2.0以上	2.0以上	2.0以上	2.0以上

※機械・エネルギーシステム工学科（エネルギー）の専門選択科目は，AとS選択で33単位（S選択14単位含む）とする。

※応用化学科の専門選択科目は，AとS選択で24単位（S選択2単位含む）とする。

※福祉環境工学科（建築）の専門選択科目は，AとS選択で10.5単位（S選択6単位含む）とする。

※福祉環境工学科（メカトロニクス）の専門選択科目は，AとS選択で31単位（S選択6単位含む）とする。

別表 2

全学共通科目

区 分	分 野	授業科目	単 位	週授業時間数	備 考
全学共通 科 目		「教養教育科目ガイドブック」に定める。			履修上限制,成績指標 制度ともに対象科目 (集中講義を除く。)

外国語科目

区 分	分 野	授業科目	単 位			週授業時間数				備 考
			単 位	必 修	選 択	1 年次		2 年次		
						前 期	後 期	前 期	後 期	
外国語 科 目	外 国 語	英 語 I	4	◎		4	4			履修上限制,成績指標 制度ともに対象科目 (集中講義を除く。)
		英 語 II	2	◎				2	2	

身体・スポーツ科学科目

区 分	授 業 科 目	単 位			週授業時間数				備 考
		単 位	必 修	選 択	1 年次		2 年次		
					前 期	後 期	前 期	後 期	
身体・スポーツ 科 学 科 目	スポーツ文化科学	2		○	(2)	(2)			履修上制限は非対象科目。 成績指標制度は対象科目（集中講義を除く。）

別表 3

専門基礎科目

授 業 科 目	単 位	対象 学年	対 象 学 科 等											週授業 時間数		
			機 械	エ ネ ル ギ ー	電 気	電 子	知 能	化 学	建 築	メ カ ト ロ ニ ク ス	履 修 上 限 制	成 績 指 標 制 度	前 期	後 期		
基礎解析学 1	2	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	2		1. ◎は、 必修科目 を表す。 2. ○は、 A 選択科 目を表す。 3. 対象学 科等の空 欄はB選 択科目を 表す。	
基礎解析学 2	2	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○		2		
基礎解析学 3	2	2	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○	○	2			
基礎代数学 1	2	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	2			
基礎代数学 2	2	1	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	○		2		
基礎代数学 3	2	2	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○	○	2			
物 理 学 基 礎	2	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	2			
力 学 I	2	1～3	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○	2			
力 学 II	2	1～3	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○		2		
基礎電磁気学	2	1～3	○				○	○	○	○	○	○	(2)	(2)		
波 動 と 光	2	1～3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		2		
熱 力 学	2	1～3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		2		
物 理 学 実 験	2	1～3	○	◎	◎	◎	○	◎	○	○	○	○	(4)	(4)		
原 子 と 分 子	2	1～3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2			
物質の状態と変化	2	1～3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		2		
エネルギーと環境	2	1～3			○	○	○	○	○	○	×	×	2			
基礎理論化学Ⅰ	2	2～3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	2			
基礎理論化学Ⅱ	2	1～3		○	○	○	○	○	○	○	○	○		2		
化 学 実 験	2	1～3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	(4)	(4)		
図 学	2	1～3			○	○	○	○		○	×	×	(2)	(2)		
図 学（建築）	2	1～3							◎		○	○	(2)	(2)		
単位数計	必修		14	16	18	16	12	10	12	14						
	A 選択		16	18	20	22	28	30	28	26						

(注) A 選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含める。

B 選択科目＝単位を修得した場合、卒業研究着手要件並びに卒業に必要な単位として含めない。

別表 4

機械・エネルギーシステム工学科

区 分	授業科目	単 位 数	機 械 コース			エネルギー コース			週 授 業 時 間 数								備 考
			必修 選択 の別	履 修 上 限 制	成績 指 標 制 度	必修 選択 の別	履 修 上 限 制	成績 指 標 制 度	1 年		2 年		3 年		4 年		
									前	後	前	後	前	後	前	後	
専 門 教 育 科 目	機械数学Ⅰ	2	◎	○	○					2							
	機械数学Ⅱ	2	◎	○	○						2						
	機械工学セミナー	1	◎	○	○				2								
	機械工学基礎・演習	2	◎	○	○					2							
	材料力学基礎・演習	3	◎	○	○						3						
	材料力学	2	◎	○	○							2					
	材料と弾性の力学	2	○	○	○								2				
	熱力学基礎・演習	3	◎	○	○						3						
	熱工学Ⅰ	2	◎	○	○							2					
	熱工学Ⅱ	2	◎	○	○								2				
	伝熱学Ⅰ	2	◎	○	○								2				
	伝熱学Ⅱ	2	◎	○	○									2			
	流体力学基礎・演習	3	◎	○	○						3						
	流体力学	2	◎	○	○							2					
	流体工学Ⅰ	2	◎	○	○								2				
	流体工学Ⅱ	2	◎	○	○									2			
	機械物理	2	◎	○	○						2						
	機械力学基礎・演習	3	◎	○	○								3				
	機械力学	2	◎	○	○									2			
	計算力学	2	○	○	○									2			
	機械設計学基礎	2	◎	○	○								2				
	機械工作法	2	◎	○	○						2						
	機械加工学	2	○	○	○							2					
	工作機械・生産工学	2	○	○	○									2			
	機械材料学基礎	2	◎	○	○						2						
	機械材料学	2	○	○	○							2					
	機械計測工学	2	◎	○	○							2					
	システム制御基礎	2	◎	○	○								2				
	システム制御	2	◎	○	○									2			
	機械製図	1.5	◎	×	○							3					
	機械設計製図	1.5	◎	×	○								3				
	デザイン実習	1	○	×	○									2			
	機械応用設計	1.5	◎	×	○									3			
	機械工学実験Ⅰ	1.5	◎	×	○								3				
	機械工学実験Ⅱ	1.5	◎	×	○									3			
	機械工学実習	1.5	◎	×	○						3						
メカトロニクス	2	○	○	○								2					
応用解析Ⅰ	2	○	○	○							2						
応用解析Ⅱ	2	○	○	○							2						
応用解析Ⅲ	2	○	○	○							2						

区 分	授業科目	単 位 数	機 械 コース			エネルギー コース			週 授 業 時 間 数								備 考	
			必修 選択の別	履修 上 限 制	成績 指標 制度	必修 選択の別	履修 上 限 制	成績 指標 制度	1 年		2 年		3 年		4 年			
									前	後	前	後	前	後	前	後		
専 門 教 育 科 目	応用解析Ⅳ	2	○	○	○						2							
	確率統計	2	○	○	○							2						
	品質管理	2	○	○	○									2				
	情報システム概論	2	○	○	○				2									
	電気工学概論Ⅰ	2	○	○	○								2					
	電気工学概論Ⅱ	2	○	○	○									2				
	職業指導	2		×	×								2					
	起業家育成講座	2		×	×				2									
	インターンシップ A※	1	○	×	×						(1)		(1)				A・Bどちらか 一方を選択する	
	インターンシップ B※	2	○	×	×						(2)		(2)					
	工業倫理	1	◎	×	×												時期は指定する	
	実用基礎英語*	1	○	×	×				TOEFL 453 点(PBT 試験), 136 点(CBT 試験), 46(iBT 試験)以上 またはTOEIC 450 点以上									
	実用英語*	1	○	×	×				TOEFL 487 点(PBT 試験), 163 点(CBT 試験), 57(iBT 試験)以上 またはTOEIC 550 点以上									
	工業英語	2	○	○	○									2				
	卒業研究	6	◎	○	○											3	15	
	エネルギー工学基礎	1				◎	×	×	1									
	工業力学	2				◎	○	○		2								
	材料力学Ⅰ	2				◎	○	○			2							
	材料力学Ⅱ	2				◎	○	○				2						
	材料力学演習	1				○	×	○					2					
	弾性力学	2				○	○	○					2					
	熱力学Ⅰ	2				◎	○	○			2							
	熱力学Ⅱ	2				◎	○	○				2						
	熱力学演習	1				○	×	○				2						
	エンジンシステム	2				○	○	○					2					
	伝熱学Ⅰ	2				△	○	○					2					
	伝熱学Ⅱ	2				△	○	○						2				
	流れ学Ⅰ	2				◎	○	○			2							
	流れ学Ⅱ	2				◎	○	○				2						
	流体工学Ⅰ	2				△	○	○					2					
	流体工学Ⅱ	2				○	○	○						2				
	計測工学	2				○	○	○						2				
	機構学	2				△	○	○			2							
	機械振動学Ⅰ	2				△	○	○					2					
	機械振動学Ⅱ	2				○	○	○						2				
	機械要素設計学	2				○	○	○					2					
	機械工作法	2				○	○	○				2						
	機械材料	2				○	○	○				2						
	電気理論基礎	2				○	○	○	2									
	電気回路Ⅰ	2				◎	○	○		2								
	電気回路Ⅱ	2				◎	○	○			2							
	電気回路演習	1				○	×	○			2							
	電磁気学Ⅰ	2				◎	○	○			2							
	電磁気学Ⅱ	2				◎	○	○				2						

区 分	授業科目	単 位 数	機 械 コース			エネルギー コース			週 授 業 時 間 数								備 考
			必修 選択 の別	履 修 上 限 制	成績 指標 制度	必修 選択 の別	履 修 上 限 制	成績 指標 制度	1 年		2 年		3 年		4 年		
									前	後	前	後	前	後	前	後	
専 門 教 育 科 目	電磁気学演習	1				○	×	○				2					
	エネルギー変換機器	2				△	○	○					2				
	エネルギー変換工学	2				○	○	○						2			
	パワーエレクトロニクス	2				○	○	○							2		
	電気物性工学Ⅰ	2				△	○	○					2				
	電気物性工学Ⅱ	2				△	○	○						2			
	電子回路	2				○	○	○						2			
	プラズマ工学	2				○	○	○								2	
	電力システム工学	2				△	○	○						2			
	制御工学Ⅰ	2				△	○	○				2					
	制御工学Ⅱ	2				○	○	○						2			
	機械設計製図Ⅰ	1				◎	×	○	2								
	機械設計製図Ⅱ	1.5				◎	×	○			3						
	機械設計製図Ⅲ	1.5				◎	×	○						3			
	特別講義Ⅰ	1				○	×	×						1			
	数値解析演習	1				○	×	○						1			
	エネルギー工学実験Ⅰ	1				◎	×	○					2				
	エネルギー工学実験Ⅱ	1				◎	×	○						2			
	機械工作制御実習	1				◎	×	○				2					
	応用解析Ⅰ	2				◎	○	○			2						
	応用解析Ⅱ	2				◎	○	○			2						
	応用解析Ⅲ	2				○	○	○	2								
	応用解析Ⅳ	2				○	○	○			2						
	確率統計	2				○	○	○				2					
	品質管理	2				○	○	○						2			
	職業指導	2					×	×					2				
	起業家育成講座	2					×	×									
	インターンシップ A	1				○	×	×			(1)		(1)				A・Bどちらか一方を選択する
	インターンシップ B	2				○	×	×			(2)		(2)				
	工学倫理	1				◎	×	×					2				
エネルギーシステムデザイン	2				◎	×	×					2					
情報処理	2				◎	○	○		2								
情報処理演習	1				○	×	○						2				
実用基礎英語*	1				△	×	×	TOEFL 453 点(PBT 試験), 136 点(CBT 試験), 46 点(iBT 試験) 以上 またはTOEIC 400 点以上									
実用英語*	1				○	×	×	TOEFL 487 点(PBT 試験), 163 点(CBT 試験), 57 点(iBT 試験) 以上 またはTOEIC 550 点以上									
工業英語	1				○	×	○							1		卒研着手者のみ	
卒業研究	6				◎	○	○							3	15		
必修			67			45											
S 選択						21											
A 選択			36/37			46/47											
B 選択			4			4											
計			107/108			116/117											

(注) 1. 「必修選択の別」欄の◎は必修科目，△はS選択科目，○はA選択科目，空欄はB選択科目を表す。

2. 「履修上限制」欄の○は履修上限制対象科目，×は非対象科目を表す。

3. 「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目，×は非対象科目を表す。

※機械コースは，インターンシップA・Bどちらかを2年次に履修し単位を修得した場合は，3年次ではインターンシップを履修で出来ない。

* 既に検定試験等により他の科目（英語Ⅰ，Ⅱなど）で単位認定を受けた者は，本科目の単位認定から除く。

卒業研究着手要件

機械・エネルギーシステム工学科 機械コース

3年次終了時に以下の(1)～(3)の条件を全て満たしていること。ただし，編入学生については別に学科で定める。

- (1) 累積成績指標値が2.0以上であること。
- (2) 教養科目26単位（全学共通科目・身体スポーツ科学科目の中から20単位（人文分野4単位以上，社会分野4単位以上を含むこと），外国語科目6単位），専門基礎科目20単位（必修科目14単位を含む）を修得していること。
- (3) 専門教育科目の中から61単位以上（必修科目50単位を含む）を修得していること。ただし，専門教育科目のうちには，機械工学セミナー，機械工学基礎・演習，工業倫理（県内・県外工場見学を含む），機械製図，機械設計製図，機械応用設計，機械工学実験Ⅰ，機械工学実験Ⅱおよび機械工学実習の単位を含んでいること。

機械・エネルギーシステム工学科 エネルギーコース

3年次終了時に以下の(1)，(2)の条件を全て満たしていること。ただし，編入学生については別に学科で定める。

- (1) 累積成績指標値が2.0以上であること。
 - (2) 教養教育科目22単位以上（全学共通科目・身体スポーツ科学科目の中から16単位以上，外国語科目6単位），専門基礎科目20単位（必修科目16単位を含む），専門教育科目65単位以上（必修科目35単位以上，S・A選択科目30単位以上）の合計107単位以上を修得していること。
- ただし，専門教育科目の必修科目35単位の中には，3年次までの実験・実習及び設計工学の全ての単位を含んでいること。また，S・A選択科目30単位中には，S選択科目10単位以上を含んでいること。

早期卒業希望者卒業研究着手要件

機械・エネルギーシステム工学科 機械コース

2年次終了時に以下の(1)～(3)の条件を全て満たしている者は，本人の申請により卒業研究に着手できる。

- (1) 累積成績指標値が4.0以上であること。
- (2) 教養教育科目26単位（全学共通科目・身体スポーツ科目の中から20単位（人文分野4単位以上，社会分野4単位以上を含むこと），外国語科目6単位）専門基礎科目20単位（必修科目14単位を含む）を修得していること。
- (3) 専門教育科目の中から53.5単位以上（必修科目42.5単位を含む）を修得していること。ただし，専門教育科目のうちには，機械工学セミナー，機械工学基礎・演習，機械製図，機械設計製図および機械工学実習の単位を含んでいること。

機械・エネルギーシステム工学科 エネルギーコース

2年次終了時に以下の(1)，(2)の条件をすべて満たしているものは，本人の申請により卒業研究に着手できる。

- (1) 累積成績指標値が4.0以上であること。
 - (2) 教養教育科目22単位以上（全学共通科目・身体スポーツ科学科目の中から16単位以上，外国語科目6単位）専門基礎科目20単位（必修科目16単位を含む），専門教育科目54単位以上の合計96単位以上を修得していること。
- ただし，専門教育科目54単位の中には，2年次までの全ての必修科目と全てのS選択科目の単位を含んでいること。

電気電子工学科

区分	授業科目	単 位 数	電気コース			電子コース			週 授 業 時 間 数								備 考	
			必修 選択 の別	履 修 上 限 制	成績 指標 制度	必修 選択 の別	履 修 上 限 制	成績 指標 制度	1 年		2 年		3 年		4 年			
									前	後	前	後	前	後	前	後		
専 門 教 育 科 目	電気電子工学入門	2	◎	○	○	◎	○	○	2									
	電磁気学Ⅰ	2	◎	○	○						2							
						◎	○	○	2									
	電磁気学Ⅱ	2	◎	○	○							2						
						◎	○	○		2								
	電磁気学Ⅲ	2	◎	○	○							2						
						◎	○	○			2							
	電磁気学Ⅳ	2	◎	○	○								2					
						◎	○	○				2						
	電気回路Ⅰ	2	◎	○	○	◎	○	○	2									
	電気回路Ⅱ	2	◎	○	○	◎	○	○		2								
	電気回路Ⅲ	2	◎	○	○	◎	○	○			2							
	電気回路Ⅳ	2	◎	○	○							2						
	情報伝送工学	2				◎	○	○				2						
	電気電子計測工学	2	◎	○	○							2						
						◎	○	○				2						
	音響工学	2	○	○	○	○	○	○								2		
	電磁波工学Ⅰ	2	○	○	○	◎	○	○					2					
	電磁波工学Ⅱ	2	○	○	○	○	○	○						2				
	電子回路Ⅰ	2	◎	○	○	◎	○	○				2						
	電子回路Ⅱ	2	◎	○	○	◎	○	○					2					
	電子回路Ⅲ	2	○	○	○	◎	○	○						2				
	電子機器	2	○	○	○	○	○	○							2			
	電気電子物性工学	2	◎	○	○								2					
						◎	○	○				2						
	半導体工学	2	○	○	○	○	○	○					2					
	集積回路工学	2	○	×	×	○	×	×						2				
	電気電子材料	2	○	○	○		○	×						2				
	パワーエレクトロニクス	2	○	○	○		○	×								2		
	電気電子制御工学Ⅰ	2	◎	○	○	◎	○	○					2					
	電気電子制御工学Ⅱ	2	○	○	○	◎	○	○						2				
	電気機器工学Ⅰ	2	◎	○	○	○	○	○				2						
電気機器工学Ⅱ	2	○	○	○		○	×					2						
高電圧工学	2	◎	○	○		○	×					2						
電力エネルギー工学	2	○	○	○	○	○	○					2						
電気機器設計・製図	2	○	○	○		○	×							4				
プラズマ工学	2	○	○	○	○	○	○						2					
電気法規および施設管理	2	○	×	×		×	×						2					
計算機工学Ⅰ	2	◎	○	○	◎	○	○					2						
計算機工学Ⅱ	2	○	○	○	◎	○	○						2					
マイクロコンピュータ工学	2	○	○	○	○	○	○							2				
通信工学	2	◎	○	○	○	○	○					2						

区分	授業科目	単 位 数	電気コース			電子コース			週 授 業 時 間 数								備 考	
			必修 選択の別	履修 上 制限	成績 指標 制度	必修 選択の別	履修 上 制限	成績 指標 制度	1 年		2 年		3 年		4 年			
									前	後	前	後	前	後	前	後		
専門 教育 科目	通信方式	2	○	○	○	○	○	○							2			
	通信法規	2	○	×	×	○	×	×								2		
	情報理論	2	○	○	○	○	○	○						2				
	情報伝送システム	2	○	×	×	○	×	×							2			
	プログラミング	2	◎	○	○					2								
							◎	○	○						2			
	電気電子数学	2				◎	○	○				2						
	電気電子数学Ⅰ	2	◎	○	○				2									
	電気電子数学Ⅱ	2	◎	○	○					2								
	数値解析	2	○	○	○	○	○	○				2						
	電気電子英語	2	◎	○	○	◎	○	○					2					
	特別講義Ⅰ	1	○	×	×	○	×	×						1				
	特別講義Ⅱ	1	○	×	×	○	×	×					(1		(1		どちらでも可	
	電気電子基礎実験Ⅰ	1.	◎	○	○	◎	○	○			3							
	電気電子基礎実験Ⅱ	1.	◎	○	○	◎	○	○				3						
	電気電子工学実験Ⅰ	1.	◎	○	○	◎	○	○					3					
	電気電子工学実験Ⅱ	1.	◎	○	○	◎	○	○						3				
	電気電子工学実験Ⅲ	1.	◎	○	○		○	×								3		
	卒業研究	8	◎	○	○	◎	○	○								6	18	
	機械工学概論Ⅰ	2	○	○	○	○	○	○						2				
	機械工学概論Ⅱ	2	○	○	○	○	○	○							2			
	応用解析Ⅰ	2	○	○	○						2							
						○	○	○		2								
	応用解析Ⅱ	2	◎	○	○							2						
						○	○	○			2							
	応用解析Ⅲ	2	○	○	○						2							
						○	○	○			2							
	応用解析Ⅳ	2	○	○	○						2							
						◎	○	○			2							
	確率統計	2	○	○	○									2				
						○	○	○						2				
	品質管理	2	○	×	×	○	×	×							2			
職業指導	2		×	×		×	×					2						
起業家育成講座	2		×	×		×	×	2										
インターンシップA	1	○	×	×	○	×	×			(1		(1				A・Bどちらか一方を選択する		
インターンシップB	2	○	×	×	○	×	×			(2		(2						
必修			61.5			60												
A 選択			61/62			47/48												
B 選択			4			17.5												
計			126.5/ 127.5			124.5/ 125.5												

(注) 1. 「必修選択の別」欄の◎は必修科目，○はA選択科目，空欄はB選択科目を表す。

2. 「履修上制限」欄の○は履修上制限対象科目，×は非対象科目を表す。

3. 「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目，×は非対象科目を表す。

業研究着手要件

電気電子工学科 電気コース

3 年次終了時に以下の(1)～(4)の条件を全て満たしていること。ただし、編入学生については別に学科で定める。

- (1) 累積成績指標値が 2.0 以上であること。
- (2) 教養教育科目に関して、外国語科目から英語 6 単位、全学共通科目から人文分野 4 単位、社会分野 4 単位を含む 20 単位以上の、合計 26 単位以上を修得していること。
- (3) 専門基礎科目に関して、必修 18 単位を含む 20 単位以上を修得していること。
- (4) 3 年次までに開講されている専門教育科目に関して、必修科目 40 単位、必修と A 選択合わせて 56 単位以上を修得していること。ただし、その中に、電気電子工学入門、電磁気学 I・II、電気回路 I・II、電気電子基礎実験 I・II、電気電子工学実験 I・II の全てを含んでいること。

電気電子工学科 電子コース

3 年次終了時に以下の(1)～(5)の条件を全て満たしていること。ただし、編入学生については別に学科で定める。

- (1) 累積成績指標値が 2.0 以上であること。
- (2) 教養教育科目に関して、外国語科目から英語 6 単位、全学共通科目から人文分野 4 単位、社会分野 4 単位を含む 20 単位以上の、合計 26 単位以上を修得していること。
- (3) 専門基礎科目に関して必修 16 単位を含む 20 単位以上を修得していること。
- (4) 専門教育必修科目 38 単位以上(電気電子基礎実験 I・II、電気電子工学実験 I・II の全ての単位を含む)を修得していること。
- (5) 専門教育 A 選択科目 18 単位以上を修得していること。

早期卒業希望者卒業研究着手要件

電気電子工学科 電気コース

2 年次終了時に、以下の(1)～(4)の条件を全て満たした者は、本人の申請により卒業研究に着手できる。

- (1) 累積成績指標値が 4.0 以上であること。
- (2) 教養教育科目に関して、外国語科目から英語 6 単位、全学共通科目から人文分野 4 単位、社会分野 4 単位を含む 20 単位以上の、合計 26 単位以上を修得していること。
- (3) 専門基礎科目に関して、必修 18 単位を含む 20 単位以上を修得していること。
- (4) 3 年次までに開講されている専門教育科目に関して、必修科目 35 単位、必修と A 選択合わせて 50 単位以上を修得していること。ただし、その中に、電気電子工学入門、電磁気学 I・II、電気回路 I・II、電気電子基礎実験 I・II の全てを含んでいること。なお、3 年次に卒業研究着手を認められた者は、3 年次に電気電子工学実験Ⅲを履修することができる。

電気電子工学科 電子コース

2 年次終了時に以下の(1)～(5)の条件を全て満たしている者は、本人の申請により卒業研究に着手できる。

- (1) 累積成績指標値が 4.0 以上であること。
- (2) 教養教育科目に関して、外国語科目から英語 6 単位、全学共通科目から人文分野 4 単位、社会分野 4 単位を含む 20 単位以上の、合計 26 単位以上を修得していること。
- (3) 専門基礎科目に関して必修 16 単位を含む 20 単位以上を修得していること。
- (4) 専門教育必修科目 32 単位以上(電気電子基礎実験 I・II の全ての単位を含む)を修得していること。
- (5) 専門教育 A 選択科目 18 単位以上を修得していること。

知能情報システム工学科

区分	授業科目	単 位 数	必修 選択 の別	履修 上 限 制	成績 指 標 制 度	週 授 業 時 間 数								備 考	
						1 年		2 年		3 年		4 年			
						前	後	前	後	前	後	前	後	教員 免許の 種別	
専 門 教 育 科 目	計算機科学概論	2	◎	○	○	2									情
	情報論理学	2	◎	○	○	2									
	オペレーションズ・リサーチ基礎	2	◎	○	○					2					
	数値解析Ⅰ	2	◎	○	○				2						情
	数値解析演習	1	○	○	○				2						情
	数値解析Ⅱ	2	○	○	○				(2)		(2)		隔年開講		情
	多変量解析	2	○	○	○					2					
	データサイエンス基礎Ⅰ	2	◎	○	○				2						
	情報数学	2	◎	○	○		2								
	情報代数系	2	○	○	○					(2)		(2)	隔年開講		
	データサイエンス基礎Ⅱ	2	◎	○	○				2						
	データサイエンス演習	1	◎	○	○				2						
	基礎プログラミング	2	◎	○	○	2									情
	基礎プログラミング演習Ⅰ	1	◎	○	○	2									情
	基礎プログラミング演習Ⅱ	1	◎	×	○	2									情
	アルゴリズム論	2	◎	○	○		2								情
	応用プログラミング演習Ⅰ	1	◎	○	○		2								情
	情報構造論	2	◎	○	○			2							情
	応用プログラミング演習Ⅱ	1	◎	○	○			2							情
	言語処理	2	◎	○	○					2					
	ソフトウェア工学Ⅰ	2	◎	○	○				2						情
	ソフトウェア開発演習Ⅰ	1	◎	○	○				2						情
	ソフトウェア工学Ⅱ	2	◎	○	○					2					情
	ソフトウェア開発演習Ⅱ	1	◎	○	○					2					情
	ヒューマン・インタフェース	2	◎	○	○				2						情
	計算機アーキテクチャⅠ	2	◎	○	○			2							情
	計算機アーキテクチャⅡ	2	◎	○	○				2						情
	オペレーティング・システム	2	◎	○	○				2						情
	データベースシステム	2	◎	○	○					2					情
	データベース演習	1	○	○	○					2					情
	ウェブサイエンス	2	○	○	○						2				情
	情報ネットワーク	2	◎	○	○				2						情
	人工知能基礎	2	◎	○	○				2						
	知識処理論	2	◎	○	○					2					
	知的処理演習	1	○	○	○						2				
	音メディア処理	2	◎	○	○			2							
	マルチメディア処理	2	◎	○	○				2						情
	マルチメディア処理演習	1	○	○	○				2						情
	コンピュータグラフィックス	2	○	○	○					2					情
	デジタル回路	2	◎	○	○				2						
	計算機システム実験	2	◎	○	○					4					情
	知能システム実験	2	◎	○	○						4				

区分	授業科目	単 位 数	必修 選択 の別	履修 上 限 制	成績 指標 制度	週 授 業 時 間 数								備 考	
						1 年		2 年		3 年		4 年			
						前	後	前	後	前	後	前	後	教員免許の種別	
	計算機科学演習	1	◎	×	○			2							
	英語コミュニケーション	1	○	×	○					2					
	情報英語	2	◎	○	○						2				
専門 教育 科目	情報工学特別講義Ⅰ	2	○	×	×							(2)		3年に1回開講	
	情報工学特別講義Ⅱ	2	○	×	×							(2)		3年に1回開講	
	情報工学特別講義Ⅲ	2	○	×	×							(2)		3年に1回開講	
	情報職業指導演習	1	○	×	○						2				情
	情報工学特別実習ⅡA	1	○	×	×			1	1						
	情報工学特別実習ⅡB	2	○	×	×			2	2						
	情報工学特別実習ⅢA	1	○	×	×					1	1				
	情報工学特別実習ⅢB	2	○	×	×					2	2				
	情報工学特別実習ⅣA	1	○	×	×							1	1		
	情報工学特別実習ⅣB	2	○	×	×							2	2		
	技術者倫理	2	○	×	○						2				
	卒業研究	8	◎	○	○							6	18		
	応用解析Ⅰ	2	○	○	○			2							
	応用解析Ⅱ	2		×	×				2						
	応用解析Ⅲ	2	○	○	○					2					
	応用解析Ⅳ	2	○	○	○			2							
	確率統計	2		×	×				2						
	品質管理	2	○	○	○						2				
	音響工学	2	○	○	○							2			
	機械工学概論Ⅰ	2	○	○	○					2					
	機械工学概論Ⅱ	2	○	○	○				2						
	情報職業指導	2	○	×	×					2					情
	起業家育成講座	2		×	×	2									
	インターンシップA※	1	○	×	×			(1)		(1)				A・Bどちらか一方を選択する。	情
	インターンシップB※	2	○	×	×			(2)		(2)					
	必修			70											
A 選択			50/51												
B 選択			6												
計			126/127												

(注) 1. 「必修選択の別」欄の◎は必修科目，○はA選択科目，空欄はB選択科目を表す。

2. 「履修上限制」欄の○は履修上限制対象科目，×は非対象科目を表す。

3. 「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目，×は非対象科目を表す。

※インターンシップA・Bどちらかを2年次に履修し，単位を修得した場合は，3年次では，インターンシップを履修できない。

卒業研究着手要件

知能情報システム工学科

3年次終了時に以下の(1)～(3)の条件を全て満たしていること。ただし編入学生については，別に学科で定める。

(1) 累積成績指標値が2.0以上であること。

(2) 全学共通科目・身体スポーツ科学科目の中から18単位以上(人文分野4単位以上，社会分野4単位以上，人文分野・

社会分野・外国語に関するゼミナール科目から合わせて 10 単位以上を含むこと), 外国語科目 6 単位, 専門基礎科目 16 単位以上を修得していること。

- (3) 専門教育科目については, 62 単位以上 (必修科目 56 単位以上, 選択科目 4 単位以上) を修得していること。ただし, 専門教育科目には, 実験 4 単位, 必修の演習 6 単位以上を含むこと。

早期卒業希望者卒業研究着手要件

知能情報システム工学科

2 年次終了時に以下の(1)～(3)の条件を全て満たしていること。編入学生については, 別に学科で定める。

- (1) 累積成績指標値が 4.0 以上であること。
- (2) 全学共通科目・身体スポーツ科学科目の中から 20 単位以上 (人文分野 4 単位以上, 社会分野 4 単位以上, 人文分野・社会分野・外国語に関するゼミナール科目から合わせて 10 単位以上を含むこと), 外国語科目 6 単位, 専門基礎科目 20 単位以上を修得していること。
- (3) 専門教育科目については, 必修科目 48 単位以上, 選択科目 2 単位以上を修得していること。ただし, 専門教育科目には, 実験 2 単位, 必修の演習 6 単位以上を含むこと。

応用化学科

区分	授業科目	単 位 数	必修 選択 の別	履 修 上 限 制	成績 指標 制度	週 授 業 時 間 数								備 考
						1 年		2 年		3 年		4 年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
専門 教育 科目	応用化学入門	2	◎	×	×	1	1							隔週開講
	実験入門	1	◎	○	○				2					
	応用化学実験Ⅰ	1.5	◎	○	○					3				
	応用化学実験Ⅱ	1.5	◎	○	○					3				
	応用化学実験Ⅲ	1.5	◎	○	○					3				
	応用化学実験Ⅳ	1.5	◎	○	○						3			
	応用化学実験Ⅴ	1.5	◎	○	○						3			
	応用化学実験Ⅵ	1.5	◎	○	○						3			
	卒業研究	8	◎	○	○							12	12	
	無機化学Ⅰ	2	◎	○	○	2								
	無機化学Ⅱ	2	◎	○	○		2							
	有機化学Ⅰ	2	◎	○	○		2							
	有機化学Ⅱ	2	◎	○	○			2						
	有機化学Ⅲ	2	◎	○	○				2					
	物理化学Ⅰ	2	◎	○	○			2						
	物理化学Ⅱ	2	◎	○	○				2					
	分析化学	2	◎	○	○			2						
	高分子化学Ⅰ	2	◎	○	○				2					
	生物化学	2	◎	○	○					2				
	生物有機化学	2	◎	○	○						2			
	化学工学	2	◎	○	○				2					
	反応速度論	2	◎	○	○					2				
	化学結合論	2	◎	○	○						2			
	化学英語演習Ⅰ	2	◎	○	○						2			
	技術者倫理	2	◎	×	×						2			
	環境工学	2	○	○	○							2		
	応用微生物学	2	○	×	×							(2)	(2)	奇数年開講
	錯体化学	2	○	○	○						2			
	生物化学工学	1	○	×	×							1		
	応用化学特別講義Ⅰ	1	○	×	×	1								
	応用化学特別講義Ⅱ	1	○	×	×	1								
	応用化学特別講義Ⅲ	2	○	○	○				2					
	応用化学特別講義Ⅳ	2	○	○	○					2				
	化学史	2	○	○	○			2						
	高分子化学Ⅱ	2	○	○	○						2			
	分離工学	2	○	○	○					2				
	セラミックス化学	2	○	○	○						2			
	電気化学	2	○	○	○						2			
	機能物質科学	2	○	×	×						2			
	機器分析	2	○	○	○					2				
	生物反応工学	2	○	×	×						2			
	触媒化学	2	○	○	○							2		

区分	授業科目	単 位 数	必修 選択 の別	履 修 上 限 制	成績 指標 制度	週 授 業 時 間 数								備 考
						1 年		2 年		3 年		4 年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
専 門 教 育 科 目	生命科学	2	○	○	○						2			
	遺伝生化学	2	○	○	○						2			
	化学英語演習Ⅱ	2	○	○	○						2			
	情報システム概論	2	○	○	○	2								
	応用解析Ⅰ	2	○	○	○			2						
	応用解析Ⅱ	2	○	○	○				2					
	応用解析Ⅲ	2	○	○	○			2						
	応用解析Ⅳ	2	○	○	○			2						
	確率統計	2	○	○	○					2				
	機械工学概論Ⅰ	2	○	○	○			2						
	電気工学概論	2	○	○	○			2						
	品質管理	2	○	○	○					2				
	電磁気学Ⅰ	2	○	○	○	2								
	電磁気学Ⅱ	2	○	○	○			2						
	電磁気学Ⅲ	2	○	○	○			2						
	電磁気学Ⅳ	2	○	○	○				2					
	電気電子物性工学	2	○	○	○				2					
	インターンシップA	1	○	×	×			(1)		(1)				
	インターンシップB	2	○	×	×			(2)		(2)				
	工業化学基礎演習Ⅰ	1	△	×	×							1		
	工業化学基礎演習Ⅱ	1	△	×	×								1	
	機能物質化学演習Ⅰ	1	△	×	×							1		
	機能物質化学演習Ⅱ	1	△	×	×								1	
	応用生物化学演習Ⅰ	1	△	×	×							1		
	応用生物化学演習Ⅱ	1	△	×	×								1	
	情報機器操作	2		×	×							2		
	就業力の育成	1		×	×					1				
	職業指導	2		×	×					2				
	起業家育成講座	2		×	×	2								
必 修			52											
S 選 択			6											
A 選 択			68											
B 選 択			7											
計			133											

(注) 1. 「必修選択の別」欄の◎は必修科目，△はS選択科目，○はA選択科目，空欄はB選択科目を表す。

2. 「履修上限制」欄の○は履修上限制対象科目，×は非対象科目を表す。

3. 「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目，×は非対象科目を表す。

卒業研究着手要件

応用化学科

3 年次終了時に以下の(1)～(6)までの条件を全て満たしていること。ただし，編入学生については別に学科で定める。

- (1) 累積成績指標値が 2.0 以上であること。
- (2) 教養教育科目，専門基礎科目及び専門教育科目（B 選択科目を除く）の合計修得単位数が 103 単位以上であること。
- (3) 教養教育科目及び専門基礎科目の合計修得単位数が 44 単位以上であること。
- (4) 専門基礎科目の物理学実験 2 単位を修得していること。

- (5) 専門教育科目（B 選択科目を除く）の合計修得単位数が 53 単位以上であること。
- (6) 専門教育科目の全ての実験（実験入門 1 単位を含む）を修得していること。

早期卒業希望者卒業研究着手要件

応用化学科

2 年次終了時に以下の (1)～(5) までの条件を全て満たしている者は、本人の申請により卒業研究に着手できる。

- (1) 累積成績指標値が 4.0 以上であること。
- (2) 教養教育科目，専門基礎科目及び専門教育科目の合計修得単位数が 96 単位以上であること。
- (3) 教養教育科目には，人文科学系科目 4 単位以上，社会科学系科目 4 単位以上，外国語科目 6 単位が含まれていること。
- (4) 専門基礎科目の全ての必修科目を修得していること。
- (5) 1，2 年次に開講されている専門教育科目の全ての必修科目を修得していること。

福祉環境工学科 建築コース

区分	授業科目	単 位 数	必修 選択 の別	履 修 上 限 制	成績 指標 制度	週 授 業 時 間 数								備 考
						1 年		2 年		3 年		4 年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
専 門 教 育 科 目	建築総論	2	◎	×	○	2								
	建築構法	2	◎	×	○	2								
	建築ワークショップ	2	◎	×	○						2			
	技術者倫理	2	◎	×	○					2				
	建築英語	2	◎	○	○							2		
	コンピュータプログラミング	1.5	◎	○	○					3				
	建築環境工学Ⅰ	2	◎	○	○			2						
	建築環境工学Ⅰ 演習	1	◎	×	○			2						
	建築環境工学Ⅱ	2	◎	○	○				2					
	建築環境工学Ⅱ 演習	1	◎	×	○				2					
	建築環境計画Ⅰ	2	△	○	○					2				
	建築環境計画Ⅱ	2	△	○	○						2			
	建築環境計画Ⅲ	2	△	○	○						2			
	建築設備計画Ⅰ	2	◎	○	○					2				
	建築設備計画Ⅱ	2	△	×	○						2			
	住居論	2	◎	○	○			2						
	建築計画Ⅰ	2	◎	○	○				2					
	建築計画Ⅱ	2	◎	○	○					2				
	福祉環境計画	2	◎	○	○						2			
	都市計画	2	◎	○	○						2			
	都市システム工学	2	△	○	○							2		
	建築C A D製図Ⅰ	2	◎	○	○			4						
	建築C A D製図Ⅱ	2	◎	○	○				4					
	建築計画設計演習Ⅰ	3	◎	○	○					6				
	建築計画設計演習Ⅱ	3	◎	○	○						6			
	建築設計演習	3	△	○	○							6		
	構造力学Ⅰ	2	◎	○	○			2						
	構造力学Ⅰ 演習	1	◎	×	○			2						
	構造力学Ⅱ	2	◎	○	○				2					
	構造解析	2	◎	○	○					2				
	建築耐震システム	2	◎	○	○						2			
	塑性設計法	2	△	○	○							2		
	建築構造設計Ⅰ	2	◎	○	○					2				
	建築構造設計Ⅱ	2	△	○	○							2		
	木質構造	2	◎	○	○					2				
	鉄筋コンクリート構造	2	◎	○	○						2			
	鉄骨構造	2	△	○	○							2		
	建築材料	2	◎	○	○				2					
	建築材料実験	1	◎	○	○					2				
	材料力学	2	◎	○	○				2					
	基礎構造	2	△	○	○						2			
	建築施工学	2	◎	○	○						2			
	リハビリテーション工学	2	△	○	○							2		
	日本建築史	2	△	×	○			(2)		(2)				隔年開講
	西洋建築史	2	△	×	○			(2)		(2)				隔年開講
	測量学実習	1.5	△	○	○				3					
	建築法規	2	◎	○	○						2			
	身体運動機能学	2	○	○	○						2			
	人間工学	2	○	○	○						2			

区分	授業科目	単 位 数	必修 選択 の別	履修 上 限 制	成績 指標 制度	週 授 業 時 間 数								備 考
						1 年		2 年		3 年		4 年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
専門 教育 科目	倫理感性工学	2	○	○	○						2			
	生体運動制御論	2	○	○	○						2			
	応用解析Ⅰ	2	○	○	○		2							
	応用解析Ⅱ	2	○	○	○			2						
	応用解析Ⅲ	2	○	○	○			2						
	応用解析Ⅳ	2	○	○	○					2				
	確率統計	2	○	○	○						2			
	機械工学概論Ⅰ	2	○	○	○	2								
	機械工学概論Ⅱ	2	○	○	○				2					
	電気工学概論	2	○	○	○			2						
	音響工学	2	○	○	○							2		
	品質管理	2	○	○	○						2			
	職業指導	2		×	×					2				
	起業家育成講座	2		×	×	2								
	インターンシップA	1	○	×	×			(1)		(1)				
	インターンシップB	2	○	×	×			(2)		(2)				
	卒業研究	8	◎	○	○							8	16	
必 修		71.5												
S 選 択		28.5												
A 選 択		31												
B 選 択		4												
計		135												

(注) 1. 「必修選択の別」欄の◎は必修科目，△はS選択科目，○はA選択科目，空欄はB選択科目を表す。

2. 「履修上限制」欄の○は履修上限制対象科目，×は非対象科目を表す。

3. 「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目，×は非対象科目を表す。

卒業研究着手要件

福祉環境工学科 建築コース

3 年次終了時に、以下の(1)から(3)までの条件を全て満たしていること。ただし、編入学生については、別に学科で定める。

- (1) 累積指標値が 2.0 以上であること。
- (2) 教養教育科目 22 単位以上、専門基礎科目及び専門教育科目（B 選択を除く）78 単位以上の、合計 100 単位以上を修得していること。
- (3) ただし、専門基礎科目及び専門教育科目 78 単位の内には、専門基礎科目の必修科目 12 単位及び専門教育科目の必修科目 55 単位以上（全ての演習・製図を含む）を含むこと。

早期卒業希望者卒業研究着手要件

福祉環境工学科 建築コース

2 年次終了時に、以下の(1)から(3)までの条件を全て満たしたものは、本人の申請により卒業研究に着手できる

- (1) 累積指標値が 4.5 以上であること。
- (2) 教養教育科目 22 単位以上、専門基礎科目及び専門教育科目（B 選択を除く）78 単位以上の、合計 100 単位以上を修得していること。
- (3) ただし、専門基礎科目及び専門教育科目 78 単位の内には、専門基礎科目の必修科目 12 単位及び専門教育科目の必修科目 38.5 単位以上（全ての演習・製図を含む）を含むこと。

福祉環境工学科 メカトロニクスコース

区分	授業科目	単 位 数	必修 選択 の別	履 修 上 限 制	成績 指 標 制 度	週 授 業 時 間 数								備 考
						1 年		2 年		3 年		4 年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
専 門 教 育 科 目	福祉環境工学総論	2	◎	×	○	2								
	住居論	2	○	○	○		2							
	身体運動機能学	2	○	○	○					2				
	人間工学	2	○	○	○					2				
	福祉環境計画	2	○	○	○					2				
	リハビリテーション工学	2	○	○	○						2			
	倫理感性工学	2	◎	○	○						2			
	生体運動制御論	2	○	○	○						2			
	情報処理概論	2	◎	○	○	2								
	機械工学概論Ⅰ	2	◎	○	○	2								
	力学基礎演習Ⅰ	1	◎	×	○	2								
	力学基礎演習Ⅱ	1	◎	×	○		2							
	電気回路Ⅰ	2	◎	○	○		2							
	電磁気学Ⅰ	2	◎	○	○			2						
	材料力学Ⅰ	2	◎	○	○			2						
	人間システム工学実験Ⅰ	1.5	◎	×	○			3						
	電子回路Ⅰ	2	◎	○	○				2					
	メカトロニクス	2	◎	○	○				2					
	材料力学Ⅱ	2	◎	○	○				2					
	制御工学Ⅰ	2	◎	○	○				2					
	機器設計製図	1.5	◎	×	○				3					
	福祉機器実験Ⅰ	1.5	◎	×	○				3					
	電磁アクチュエータ	2	◎	○	○					2				
	Cプログラミング	2	◎	○	○					2				
	福祉機器工学Ⅰ	2	◎	○	○					2				
	機構力学	2	◎	○	○					2				
	福祉機器実験Ⅱ	1.5	◎	×	○					3				
	制御工学Ⅱ	2	◎	○	○						2			
	ロボット工学	2	◎	○	○						2			
	基礎電気工学演習	1.5	◎	×	○						2			
	人間システム工学実験Ⅱ	1.5	◎	×	○						2			
	電気回路Ⅱ	2	○	○	○			2						
	バイオエンジニアリング概論	2	○	○	○			2						
システム解析	2	○	○	○			2							
計測工学	2	○	○	○			2							
電磁気学Ⅱ	2	○	○	○				2						
機械工学概論Ⅱ	2	○	○	○				2						
流体工学	2	○	○	○				2						
人間システム信号処理	2	○	○	○					2					

区分	授業科目	単 位 数	必修 選択 の別	履 修 上 限 制	成績 指標 制度	週 授 業 時 間 数								備 考	
						1 年		2 年		3 年		4 年			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
専門 教育 科目	福祉機器設計工学演習	1.5	○	×	○					3					
	現代制御工学	2	○	○	○					2					
	電子回路Ⅱ	2	○	○	○					2					
	人間システム工学	2	○	○	○						2				
	福祉機器工学Ⅱ	2	○	○	○						2				
	CAD 演習	2	○	○	○						2				
	言語意思表示	2	○	○	○						2				
	品質管理	2	○	○	○						2				
	視覚画像工学	2	○	○	○								2		
	ヒューマンインターフェース	2	○	○	○								2		
	応用解析Ⅰ	2	△	×	○			2						5 科目の うち 3 科目 を選択必修 とする。	
	応用解析Ⅱ	2	△	×	○			2							
	応用解析Ⅲ	2	△	×	○			2							
	応用解析Ⅳ	2	△	×	○			2							
	確率統計	2	△	×	○				2						2 年次でも受講可
	インターンシップ A	1	○	×	×					1					
	インターンシップ B	2	○	×	×					2					
	職業指導	2		×	×					2					
	起業家育成講座	2		×	×	2									
	就業力の育成	1		×	×					1					
卒業研究	8	◎	×	○							4	20			
必修		53													
S 選択		10													
A 選択		50.5													
B 選択		5													
計		118.5													

(注) 1. 「必修選択の別」欄の◎は必修科目，△はS選択科目，○はA選択科目，空欄はB選択科目を表す。

2. 「履修上限制」欄の○は履修上限制対象科目，×は非対象科目を表す。

3. 「成績指標制度」欄の○は成績指標制度対象科目，×は非対象科目を表す。

卒業研究着手要件

福祉環境工学科 メカトロニクスコース

3 年次終了時に以下の(1)～(4)の条件を全て満たしていること。ただし、編入学生については、別に学科で定める。

- (1) 累積成績指標値が 2.0 以上であること。
- (2) 教養教育科目に関して、外国語科目から英語 6 単位、全学共通科目・身体スポーツ科学科目の中から人文分野 4 単位、社会分野 4 単位を含む 20 単位の、合計 26 単位以上を修得していること。
- (3) 全ての専門基礎科目の必修単位 14 単位を修得していること。
- (4) 専門教育科目 62 単位以上を修得していること。ただし、専門教育必修科目 33 単位以上(力学基礎演習Ⅰ，Ⅱを除く，3 年次までの全ての実験・演習・製図を含む)，及び S 選択科目の 6 単位以上を含むこと。

早期卒業希望者卒業研究着手要件

福祉環境工学科 メカトロニクスコース

2年次終了時に以下の(1)～(4)の条件を全て満たした者は、本人の申請により卒業研究に着手できる。

- (1) 累積成績指標値が4.0以上であること。
- (2) 教養教育科目に関して、外国語科目から英語 6 単位、全学共通科目・身体スポーツ科学科目の中から人文分野 4 単位、社会分野 4 単位を含む 20 単位の、合計 26 単位以上を修得していること。
- (3) 全ての専門基礎科目の必修単位 14 単位を修得していること。
- (4) 専門教育科目は 62 単位以上を修得していること。ただし、専門教育必修科目 18.5 単位以上(力学基礎演習Ⅰ，Ⅱを除く，2年次までの全ての実験・演習・製図を含む)，及びS選択科目の6単位以上を含むこと。